

# ドラマティック日本史 第4弾

## 「源頼朝 VS 源義経」～武家政権の光と影～



講師：山村 純也 先生

日時：9月8日（月）10：00～11：40

### ■源頼朝・義経登場の背景

① 武士の台頭と院政時代

### ■中央政界にデビューした源頼朝

- ① 平氏の台頭と源氏の没落
- ② 崇徳天皇 VS 鳥羽天皇の兄弟対決
- ③ 歩元の乱勃発へ

### ■二重の兄弟対決！保元の乱

① 摂関家の兄弟対決も同時に勃発

### ■保元の乱のその後

① 4年後には平治の乱が勃発

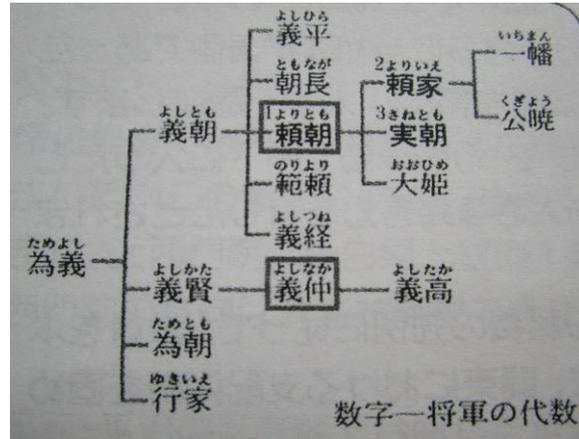


### ■源頼朝の雌伏時代と挙兵へ

- ① いず・雌伏時代
- ② 挙兵と石橋山での敗戦
- ③ 瞬く間に関東の覇者に

### ■源頼朝と義経の兄弟対面と打倒平家へ

- ① 富士川の戦いと義経との兄弟の再会
- ② 鎌倉政権下における義経の立場
- ③ 同族・木曾義仲との戦い
- ③ 平家滅亡へ



### ■源頼朝と義経の兄弟対決へ

① 英雄となった弟義経との確執

平家を滅ぼして凱旋した義経の人気は凄まじく、後白河法皇は義経に対して冠位を与えた。これを事後報告として受け取った頼朝は激怒し、鎌倉へと凱旋してきた義経を手前の腰越で留め、困惑した義経は「越越状」を頼朝に出しているが、しかし頼朝の怒りは解けず、意気消沈したまま都に戻った義経は、叔父の源行家のすすめもあって後白河法皇に願い出て、頼朝追討の趣旨を受けた。

② 義経追討と守護地頭の設置

これを知った頼朝は、関東に御家人を集め、義経追討の軍を発した。義経主従は船で西海へと逃げようとしたが途中嵐にあって引き戻され、吉野山にて静御前と別れてからは、各地を転々としながら奥州藤原氏頼って落ち延びた。

この際、頼朝の代わりとして北条時政が1000騎を引いて上洛し、頼朝の怒りを伝えながら朝廷と交渉し、義経の探索を名目として守護地頭の設置を認めさせた。

③ 奥州征伐

頼朝は藤原秀衡に圧力をかけて義経を討たせ、更に自ら奥州征伐を行い、秀衡を撃つことによって関東の支配権を盤石なものにした。

### ■鎌倉幕府の成立と兄弟対決の影響

- ① 日本初の本格的武家政権：幕府成立は守護地頭を設置した1182年とする説が近年有力。
- ② 頼朝が目指した国家と犠牲になった義経：兄弟対決がまさに歴史を大きく動かした。